

第13回船橋市地域公共交通活性化協議会 会議録

日 時：平成23年5月26日(木)

10:00～11:00

場 所：船橋市役所 9階

第1会議室

出席者：別添名簿参照

	<p>0. 事務連絡 (配布資料の確認など)</p>
議 長	<p>1. 開 会</p> <p>2. 報 告 それでは議事の1番でございます、船橋地域公共交通活性化協議会事業にかかる実証実験の運用再開及び運賃について、まずは八木が谷地区について事務局から説明願います。</p>
事務局長	<p><事務局より説明></p>
議 長	<p>何かご質問や意見はございませんでしょうか</p>
委 員	<p>(特になし)</p>
議 長	<p>よろしいようでしたら、次は丸山地区について事務局から説明願います。</p>
事務局長	<p><事務局より説明></p>
議 長	<p>なにかご意見はございますでしょうか。</p>
委 員	<p>私はこの丸山地区に住んでおりますので、少し神経質になっているかもしれないのですが、前よりもだいぶ改善されて非常に先が明るくなった。そこで質問ですが、この前、我々は360人くらいを目標にいろいろやってきて、だいたい160人くらいだったということなのですが、今回その360人が400人になったという理由を聞きたいというのが一つ。</p> <p>もうひとつは、1日平均200人を下回った場合ということがございますが、これについてはたとえば、200人すれすれの190人とか185人とか非常に幅が狭いことで200人にならなかった場合には、たとえば運賃を170円のところを200円にして運行をできないかというような相談を後でしてもらえるかどうか。この二つだけ確認したい。</p>

事務局長	<p>まず1点目の、昨年度との人数の関係なのですが、昨年度、最終的にといいますが、途中で変えさせていただいた経緯がございます。当初350人と言っていたところを最終目標人数として380人という人数をお出ししたかと思えます。これにつきましては昨年度実証実験を行う中で、一人当たりの平均の運賃、大人と子供がある関係で158円という数字が出てきた段階で、去年実験を行うにあたり1日の経費が6万円かかるであろうということで始めさせていただいておりますので、これは単純に割りかえしまして380人乗っていたかかないと6万円の金額にはならないということで380人ということでやらせていただきました。</p> <p>只今説明させていただきました400人と違うということですが、私どものほうで、みなさんにお話ししております6万円という経費で収まれば、昨年度と同じ人数で考えていけたのですが、いろいろな事情がありまして、例えば、昨年度は3ヶ月の実証実験だったのですが、事業者さんの方といたしましては3ヶ月やる場合と、長い期間の場合で、なかなか経費面で同じようにはいかないというような形での見積もりをいただいております。いただいた数字等をもとに今年の黒字になる数字を割り返しますと、若干上がりまして今年の場合は400人ということになっておりますのでその数字を使わせていただいております。</p> <p>それから2点目の200人を下回った場合ということですが、200人をちょっと下回った場合、それから、私どもはそんなことはないと思っているのですが場合によっては大幅に、去年170人という実績があるのですが、それを大幅に下回ってしまうこともあるかもしれません。これにつきましては、私どもは乗っていただけと思っているのですが、実際の数字を見てみないとそのことについては何とも言えないと考えております。その人数を見る期間も4ヶ月ということで見させていただくということで考えたいと思います。4ヶ月の結果を見て例えば198人という数字もあるかと思うのですが、じゃあその場合にはちょっとしか下回ってないから、なんとかならないかということはあると思います。今の段階で細かい数字、国の方から補助金の決定も受けてないというなかで、それから今年度、これから議事の2番目で説明させていただく事業のことも含めまして、他の事業も控えておりまして、協議会の今年度の予算の中で動かせるのかというのは当然出てくるかと思えます。その辺も見まして、数字を見た上ではそのあとどうしようかということ、またこの場で皆さんと協議させていただければよろしいのではないかと考えております。</p> <p>以上でございます。</p>
議 長	他にご質問ありますでしょうか。
委 員	<p>昨年度は、事務局の方では380人を目標としていた。結果的には170人程度だった。一応今年度は、これから継続するのかどうかということについては200人を前提にして考えていくと。こういうお話でしたけれども、400人になればペイしない場合に、その不足額というのはどういう予算執行を</p>

<p>事務局長</p>	<p>していくのか。国から助成が出るのかあるいは船橋市から財政支出して補充していくのか、その辺はどうなのでしょう。</p> <p>経費の関係ですが、今400人は丸山と八木が谷と同じということですので半分の200人を目指していくことになるかと思いますが、私どもといたしましては残りの経費といたしましては協議会からの補助ということで事業者の方に補填することを考えております。昨年度と同じですが、経費から運賃収入で得た金額を差し引いた金額を補助金として支出するという方法を考えております。現在のところ昨年の最後の協議会で、船橋市の予算案としまして、23年度につきましてはあくまでも昨年度と同じ経費であればという前提があるのですが、3ヶ月分の経費は確保しておりますというお話をしているかと思うのですが、それは全く収入がなかった場合の想定ですので、今回収入分を運行の経費へ回していくという考えを持っておりますので、例えば収入が二分の一であれば市の予算だけでいえば3ヶ月分の予算で6ヶ月運行ができるということになるかと思うのですが、これにつきましては国からも補助金がまだ内示の段階で決定の数字はいただいてないのですが、船橋市の予算以上の金額は内示いただいておりますので、それも合わせて当てるという形で、他の事業も見まして、繰り返しになりますけれども、協議会の方からの補助という形で出していくということを考えております。</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございました。他に何かご質問ありますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>(特になし)</p>
<p>議長</p>	<p>それでは最後に田喜野井地区について事務局から説明願います。</p>
<p>事務局長</p>	<p><事務局より説明></p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございました。この件について何かご質問等ございますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>今回9ヶ月の実証実験で動かしていただけるというのは大変ありがたい。それが一つ。</p> <p>もうひとつは4ヶ月後に検討するということなのですが、この4カ月というのには何か特別な理由があるのでしょうか。</p>
<p>議長</p>	<p>事務局からお願いします。</p>
<p>事務局長</p>	<p>先程のご質問の中で若干触れさせていただきましたけれども、市の予算だけということで考えますと運賃収入が全くない場合にも3ヶ月運行できる経費を確保しております。運賃収入を経費に当てていきますので黒字になるにつれ</p>

	<p>てといたしますが、この400人の半分の200人乗車していただいた場合ですが、市の予算だけで3ヶ月の二倍、6ヶ月に延ばすことができます。万が一ですが、運行中止にする場合、1ヶ月前に告知しなければならないというルールがございますので考え方といたしましては、7・8・9・10月末までの期間で区切りまして、人数を下回った場合には、11月に皆様にお集まりいただいて今後について協議していただきまして、万が一中止になった場合は、二ヶ月後、12月中止するという、そういうことを想定しております。そうすれば6カ月できます。それと昨年度の実証実験の期間が3カ月であったということで、それよりは最低でも延ばして行きたいと、出来ましたら9ヶ月行きたいということで、その辺を含めまして4ヶ月後と考えております。以上でございます。</p>
議 長	<p>他に何かご意見・ご質問ありますでしょうか。 それではお諮りいたします。 船橋市地域公共交通活性化協議会事業にかかる実証実験の運行の再開・運賃について、ご異議ございませんでしょうか。</p>
委 員	<p>(異議なし)</p>
議 長	<p>次に議事の2、バスロケーションシステムの導入につきまして事務局より説明願います。</p>
事務局長	<p><事務局より説明></p>
議 長	<p>このことについて、何かご異議・ご質問等ありますでしょうか。</p>
委 員	<p>事務局にというよりは事業者様に、皆様にご存じかどうかを踏まえてご案内していただきたいのですが、バス停に行ってもバスが来るか来ないかというのを判断する、というイライラの解消というのもひとつのテーマかと思いますが、携帯電話でやる時のご案内がなかったものですから、携帯でやる時というのはどうなるのでしょうか。例えばバスの本数はいっぱいあるのかないのか。それによって一時間に一本しかないバスが遅れてくるかどうかというのは確認した方がいいのかもしれないですけど、5分ヘッドぐらいで来るようなものを、「いつかは来るよね」「待つのは5分だよ」「だったら操作している間にも行っちゃった方が早いよね」というような感覚にもなるかと思えます。運行間隔がわからないものですから、どのくらい利用者の皆様にとって便利なんだろうか、ということをおしえていただくとありがたいのですが。</p>
委 員	<p>まず、携帯電話でバスの接近状況を確認できるかということですが、携帯電話でも確認できます。その内容は乗車するバス停を指定しまして選択していた</p>

	<p>だき、あと何分でバスが到着するか。あと目的地、降りるバス停を指定していただければ何分ごろに目的地に到着するか。こういう情報が携帯電話で見られます。今日はちょっと、画面に出しにくいので出さなかったということですが、パソコンとあくまでセットで情報提供しております。</p> <p>あと、運行本数についてですが、弊社で導入します路線は市内線・田喜野井線といいまして、運行本数が市内でも少なめな路線を選択しております。市内線は日中で20分～30分間隔。田喜野井線はさきほどご紹介いただいたとおり約40分間隔ということで、これより本数の多い路線もあるのですがそこについてはあえて対象に含めておりません。本数が少なめの路線でこういうサービスを行った方がより、利用者にとって利便性が高まるであろうということなので、この路線を選択しております。以上でございます。</p>
議長	ありがとうございました。他にご意見ご質問ありますでしょうか。
委員	(意見なし)
議長	<p>それではお諮りいたします。</p> <p>このバスロケーションシステムについてご異議ございませんでしょうか。</p>
委員	(異議なし)
議長	<p>ありがとうございます。</p> <p>続きまして、議事3、平成22年度船橋市地域公共交通活性化協議会の決算につきまして事務局の方から説明願います。</p>
事務局長	<p><事務局より説明></p> <p>平成22年度の協議会決算につきましては今月の17日に監査委員であります千葉県タクシー協会京葉支部長の小池様、住民代表、東部地区代表の清水様に監査を受けたところであります。それでは監査委員の小池様に監査の結果につきましてご報告いただきたいと思っております。</p>
監査委員	<p>去る平成23年5月17日、同じく監査委員の清水様と事務局の同席の上、通帳・帳簿・証拠書類等閲覧したところであります。その結果、平成22年度船橋市地域公共交通活性化協議会の会計について、いずれも適正に処理されていることを認めましたのでここにご報告申し上げます。以上です。</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>決算についてなにかご質問等ございますでしょうか。</p>
委員	(質問なし)

議長	それではお諮りいたします。平成22年度船橋市知育公共交通活性化協議会の決算について、ご異議ございませんでしょうか。
委員	(異議なし)
議長	ありがとうございます。最後にその他、今後のスケジュールについて事務局から説明願います。
事務局長	<事務局より説明>
議長	他に何かございますでしょうか。
委員	この件について、今まで説明していただいたことは了解いたしました。第二弾としてこの会議の初めのときに9地区が不便地域であることを前提としている、その中から3地区を選んで実証実験をやっていくということでございますが、わたくし、広報が何かで見たような気がするのですが、その第二弾として9地区の内の3地区を除いたあとの6地区の中で選んで、第二弾として実証実験をやることを今年度内に検討するという記事を見ました。それをやるかやらないかという検討を5、6月ごろに総合交通計画課で検討するというようなことが記憶にあるのですが、その辺は私の勘違いかどうか確認したいのですが。その辺の予定ですね。例えば法典地区で、上山町と旭町を対象にした実証実験を検討するというようなことをもらったものですから、地元でも多少話題になっている。これからの予定としてどんな考え方なのかお聞きしたいのですが。
事務局長	今おっしゃられた内容ですが、今回挙げさせていただきました、昨年度行った3地区についてですが、これにつきまして、今年度の運行について、年度が変わって4月ぐらいに協議会を開いて、なるべく早く運行を開始したいと丸山・八木が谷地区にご説明した経緯がございます。その時に「できれば6月ごろには」というようなことを申し上げているかとは思いますが。3月11日に震災がありました関係で今日お諮りさせていただきました実験の開始が7月になってしまい大変申し訳なく考えているんですけども、6月とかそういう月についてはそこで出た話ではないかと考えております。 それから今年度、他の地区で行うということにつきましては、広報等でも予算の関係で記事が出ているかと思えます。今年度は昨年度実施した地区に加えまして、新たに今お話がありました旭町・上山町地区ともう一つ、松が丘・新高根地区で、新たな公共交通の実証実験を行いたいと考えております。先程今後のスケジュールについてお話したところの最後に話したデマンドについて8月～9月に諮らせていただきたいと申し上げましたけれども、今のところ今あげました2地区につきまして、このスケジュールでデマンドでの運行ということで進めていこうと考えているところでございます。以上です。

議 長	その他、何かご意見ありますでしょうか。
委 員	<p>ここで質問というか要望なのですが、補助金のあり方というか考え方についてですが、先程事務局からご説明がありましたけれども、この実証運行は運行経費、掛かるお金から運賃収入を引いた分が支払われる仕組みになっております。これは事業者といたしましては「赤字にならない」ということを意味していきまして、非常にありがたい話ではあるのですが、一方で利益も出ないという仕組みになっています。例えば事業者が努力をしてお客様が予定より増えてもその分補助金が減らされちゃいますので事業者にとってはお客様が乗っても乗らなくても結果が変わらない。これだとやっぱりどうしても事業者は努力が不十分になってしまうのではないかと考えております。実は国交省の補助制度も最近考え方が変わってきてまして、補助の金額というのを年度の初めに決めておきまして、それよりも利用者が増えて収入が増えた分は事業者の利益になる。または予定よりもコストダウンを図れば事業者の利益になりえる。逆に、利用者が目標を下回ればそれは事業者が赤字を背負うと、こういうような仕組みに、考え方が変わってきていますので、船橋市の考え方についても来年度以降になるかもしれませんが、そういうインセンティブ制度という考え方を取り入れていただければと考えているところです。一応要望として発言させていただきます。</p>
議 長	ありがとうございます。事務局から何かありますか？
事務局	<p>私どもといたしましても、今おっしゃられたその通り、課題として考えております。私どもといたしましては来年度まで、補助金のあり方も含めて、運行に関しての仕組みづくりや基準づくりをしていくことを目標に掲げておりますので、事業者の皆様方にとってインセンティブが得られるような運行の方法についても、今年度来年度で検討していきたいと考えております。</p>
議 長	他に何かご意見ご質問等ございますでしょうか。
委 員	(意見なし)
議 長	それでは平成23年度第13回船橋市地域公共交通活性化協議会を閉会といたします。